

第6学年2組 総合的な学習の時間 学習指導案

令和5年2月16日(金) 第6校時
在籍児童数 28名
場 所 第6学年2組教室
指 導 者 岸本 拓也

1 単元名 「実社会で働く人々の姿と自己の将来～理想の自分に近づくためにできることとは～」

2 単元の目標

地域で働く人々や自分が目指す職業の方々に関わる活動を通して、理想の自分を見つめ必要なことに気づき、自己の将来について考え、自らの今後の生活に生かすことができるようにする。

3 単元について

・児童観

本学級の児童は、自分達の興味のあることを調べ、伝えたい相手に自分たちで決めた方法で発表することができる総合的な学習の時間に対して、意欲的に取り組むことができる児童が多い。しかし、自分たちの興味のあることをインターネットで調べ、スライドでまとめるという型ができてしまっており、その型からなかなか抜け出すことができない。

1学期に修学旅行での学びなどをドラマにまとめ、動画に収めて5年生に発表した。その後、グループごとにブースを作成し、5年生が興味のある所に自由に行くことができるよう場を設定し、詳しい説明をスライドや模型などを用いて行った。ただ調べたことをそのまま伝えるのではなく、5年生に楽しく・分かりやすく伝えたいという相手意識をもつことができていた。しかし、「伝えられて良かった」「自分たちも楽しかった」となるだけで、今回の学習から新たな課題を見つけ、次に繋がることができなかった。

そこで2学期は、キャリア教育に指針を変更し、地域の働いている人はどのように働いているのか職場見学に行き、直接質問をしたり、インターネットで詳しく調べたりしていく中で、働いている人の思いや工夫についてクラスで課題設定した。その課題を整理・分析し、まとめたものを隣のクラスに紙芝居とスライド形式で発表した。働くには大切なことが沢山あり、自分たちも大人になった際にどのような職業につきたいのか考え、そのためにどのようなことをしていかなければならないのか、3学期に考えることになり、問題解決的な活動が繰り返されることとなった。

・教材観

本単元は、「キャリア教育」を学年のテーマとし、学習活動を展開している。地域への職場見学に行くことで、探究的な学習の過程において重要となる直接体験ができた。とどまることなく変化する社会の中で、子供たちは将来を考えるのに役立つ理想とする大人のモデルが見付けにくくなっている。「自分がなりたい職業」「理想の自分」にフォーカスしたものを教材にすることで未来への期待が膨らみ、次々と学習活動が展開することが期待される。また、「働くこと」については、家事や学校での活動、ボランティア活動など幅広く実社会や実生活について多面的・多角的に考えることができる。

・指導観

本単元を通して、最初に思いついた自分の考えをただ説明するだけではなく、他者の意見を聞き、建設的な意見を出せるようにしていきたい。国語「聞いて、考えを深めよう」の学習では、互いの考えを比較したり、理由や事例の適切さを検討したりしながら、自分の考えをまとめなおすことができるよう指導をした。

また、自分の思いを相手に分かりやすく伝える力を身につけさせたい。国語「鳥獣戯画を読む」の学習では、職業やなりたい自分について調べたことをもとに、筋道を立てて構成したり、必要な資料を使ったりして効果的に伝わるように発信できる力をつけさせるよう、指導にあたった。そして「今、私は、ぼくは」では、将来の自分について友達へ紹介する活動を通して、情報を活用して自分の思いや考えを効果的に伝えることを意識させている。横断的な学習を通して、自分の思いを相手に分かりやすく伝える力をつけながら、総合的な学習の時間において、自分の興味のある職業について、ただの夢でなく今できることは何か、自分事として捉えて主体的に学習に取り組むことができるようにしていく。

4 研究主題との関わり

(1) 研究主題・目指す児童像

①研究主題

令和5・6・7年度 新座市教育委員会委嘱研究

確かな学力を育てる —自ら学びに向かう児童の育成—

②目指す児童像

◎主体的に問題に取り組める子

◎課題追究を追究できる子

◎対話的に問題を解決し、深い学びを実感できる子

(2) 研究仮説

総合的な学習の時間や生活科を中心に、児童のやる気を引き出す授業を計画し、探究する学習を展開することで、自ら学びに向かう児童を育成することができるのではないだろうか。

(3) 本時における研究の仮説に対する具体的な手立て

- ・前時の総合的な学習の時間で考えた「自分の興味のある仕事」から、自分たちで3学期行う課題設定をし、そのためにいつ、何をしなくてはならないか逆算し、掲示することで、見通しをもつことができ、児童のやる気を引き出す。

- ・探究する学習を行うために思考ツールを活用し、自分に必要な力を明確にする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①なりたい職業の魅力、特徴、なるまでの道のり、働いている方の思いを理解する。	①地元で働いている方や就きたい職業の方との関わりを通して感じた関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもっている。	①課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。
②地域で働く方々にインタビューしたり、なりたい職業のことについて調査したりする。	②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し種類に合わせて蓄積している。	②自分と違う意見や考え、異なる職業のよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。
③自分が就きたい職業についての理解は、その道のプロフェッショナルの協力によって情報を得て自分の将来について探究的に学習してきたことに気付いている。	③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。	③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。
	④相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	

6 単元の指導計画と評価計画

学習活動（内容）	・指導上の留意点 ○評価計画
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">小単元1「働く」とは...?</div> ○オリエンテーション ・単元のねらい、内容や計画を確認する。 ○「働く」ことについて今の自分が感じていることを話し合う。 ・お金を稼ぐためだな。	・単元の大きな流れについて講義形式で提案する。 ・児童のこれまでの生活経験の中から「働く」ことについて知っていることを出し合うようにする。 ・地域の職場の決定に関しては、興味・関心のある

<ul style="list-style-type: none"> ・将来、人の役に立ちたい。 <p>○職場見学に行く</p> <p>○地域で働く人たち（職場見学）から「働く」ことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く人たちの思いとは、何だろうか。 ・働くことで得る幸せとは、何だろうか。 <p>○初回の職場見学から企業のことを調べたり、2回目の職場見学で知りたいことを質問したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業では、「SDGs」の取り組みも何かしているのかな。 ・働く人たちの仕事に対する思いを深く知りたいから、インタビューして聞いてみたいな。 <p>○見学して得たことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人達は、地域のよさを広めたいという思いをもって働いていたよ。会長さんにも話を聞いてみたいな。 <p>○「働く」ことについてまとめ、学年報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの職業でこんな仕事（内容）をしていたよ。働くことは、生活のためもあるけれど、それ以外にもいろいろな思いがあったよ。 	<p>職業で児童の興味に任せ、納得いくまで問題解決に臨めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや疑問点などを学級内で共有し、課題設定をする。 <p>○思・判・表① (活動の様子・学習ポートフォリオ) 態② (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を基に、調べることやインタビューすることを決め、グループ内で共有させておく。 <p>○知・技①・② (活動の様子・学習ポートフォリオ) 思・判・表② (活動の様子・学習ポートフォリオ) 態度③ (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことやインタビューしたことの整理・表現は、主に「ロイロノート」を活用する。 ・地域の職場見学を通して、学級で深めた「働く」ことについての学年報告会」を行うことを伝え、収集した資料選定を行い、何をどのように発表するのかを考えることができるようにする。 <p>○思・判・表③ (活動の様子・学習ポートフォリオ) 態① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で共有して、地域の職業には様々な思いをもって働いている人がいることに気づき、次の活動の見通しをもつことができるようにする。 <p>○知・技① (学習ポートフォリオ) 思・判・表④ (活動の様子・ロイロノートスライド・学習ポートフォリオ) 態② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>小单元2 理想の自分に近づくために、必要なこととは...?</p> </div> <p>○自分のなりたい職業や興味のある職業について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業になるためには、どんなスキルが必要なのかな。専門家に話を聞いてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からなりたいもしくは興味のある職業へ広くして考えることを伝える。 ・最終的には、「理想の自分に近づくために、今の自分にできること発表会」につながることを認識し、目的を色濃いものにする。 <p>○知・技② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>思・判・表① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>態① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を集める時には、グループの人たちの思いや願いに沿っているか確認しながら進めることがで

- グループを組んで、何について深めるか考える。
- ・インタビューして、思いを聞いてみよう。
- ・職業になる過程を、本やインターネットで調べよう。

理想の自分に近づくために、今の自分にできることは...?

- 自己分析をして、自分にできることを見付ける。

・今の自分の強みや弱点って何かな。自分だけじゃ分からないから友達や先生、家族に聞こう。

・なりたい職業に近づくために今できることにチャレンジしてみたい。

- 今の自分にできることを整理する。

・話していると時々聞き取りづらいつられることがあったから活舌をよくするための練習方法を調べてみようかな。

・専門家の方にインタビューして、どんな練習をしているか聞いてみようかな。

- 今の自分にできること発表会の準備をする。

・見ていない友達やお家の人達にも分かるように、実践した成果も交えて発表したいね。

- 理想の自分に近づくために、今の自分にできること発表会をする。

きる ようにする。

・各グループがどのようなことをしているかが共有できるような掲示スペースを設けたい。

・「Yチャート」を使い、自分・友達・家族を関連させながら、自分の長所や短所等を多面的に（自己・他己）分析できるようにする。

- 思・判・表③

（活動の様子・ロイロノート 思考ツール・学習ポートフォリオ）

態①（活動の様子・学習ポートフォリオ）

・今の自分にできることとその段階を把握するために「座標軸」を活用する。

※横軸：「今出来ること」「今は難しい（将来取り組めそうな）こと」

・理想の自分に近づくために今の自分にも取り組めそうなことを把握できるようにする。

- 思・判・表②

（活動の様子・思考ツール 座標軸・学習ポートフォリオ）

態①（活動の様子・学習ポートフォリオ）

・調べたことをまとめるときには、考えるための技法（思考ツール）を活用できるよう促す。

【活用する思考ツール】

座標軸、ピラミッドチャート、クラゲチャートなど

・安全に配慮し、計画に沿って実践ができるように促す。

・取り組みの内容や成果、課題などを自分なりの方法でまとめることができるようにする。

・模造紙、CM、動画など表現の特性について話し合い、実践したことが生きる且つ伝える対象や目的に合った表現方法を選択できるようにする。

・計画、準備してきた内容をクラス内の(学年合同)グループで見合う活動を通して、よりよい発表会となるよう練り上げを行う。

- 思・判・表③

（活動の様子・思考ツール・学習ポートフォリオ）

態②（活動の様子・学習ポートフォリオ）

・発表会の様子を公開したり、撮影したりすることで、理想の自分に近づくために、今の自分がチャレンジしてみたことなどを保護者などへ発信する。

- 知・技③

（活動の様子・学習ポートフォリオ）

思・判・表④

（活動の様子・ロイロノート スライド・動画記録・学習ポートフォリオ）

態②・③（活動の様子・学習ポートフォリオ）

<p>○学習したことを生かしながら、「理想の自分」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方、目標について自分の人生や将来について考えよう。</p> <p>○「理想の自分」という遠い目標に対して、この先の自分にできる身近な(小さなことから)目標や考えたことをノートや卒業アルバムに記し、表明する。</p>	<p>・単元を通して学習してきたことを想起しながら、学んだこと、考えたことを書けるようにする。</p> <p>・改めて、これから先の自分の将来に大きく関わっている学習内容であること(今回出来たことは自分の将来に繋がっていくこと)と共に今後も継続性があって磨きかけられるものであることを意識づける。</p> <p>○知・技③ (学習ポートフォリオ) 態③(学習ポートフォリオ)</p>
---	---

7 本時の学習指導(15/31時)

(1) 目標

Yチャートから、今自分にできることを考え、並べることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動	教師の働きかけと 予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◇評価 ☆研究主題との関わり	時
つかむ	1 前回の復習を行う。	<p>T 前回は、興味のある仕事に必要な力を、自分と第三者(友達・親・先生)で分析しました。それをYチャートで表しました。Yチャートを見てみて、気付くことはありますか。</p> <p>C 自分で思っているのと、友達や親が思っている自分では違いがあります。</p> <p>T そうですね。自分での評価と、他者からの評価の違いがありますね。今日は、その違いに注目しながら、本当に自分に必要なことを考えたいと思います。</p>		10分
	Yチャートから自分にできることを考え、今できることから並べていこ			
	2 単元での本日の位置づけと、今日の流れの確認をする。	<p>T 今日の流れの確認をします。</p> <p>① Yチャートを見て、まずは課題を書きだします。</p> <p>② その課題を、具体的にどうすれば伸ばせるか考えます。</p> <p>③ 今できること、今はまだできないことで、分けます。</p> <p>④ 今できることを、1つの座標軸に表します。</p>	☆何のために今日の学習をしているのか課題意識をもたせるため、授業の位置づけをテレビ画面で確認し、児童が見通しをもち、やる気のでるようにする。	

<p>かんがえる・あらわす</p>	<p>3 Yチャートを見ながら、自分の課題を書き出す。</p> <p>4 自分の課題を、どうすれば伸ばすことができるのか、考える。</p> <p>5 今できること、今はまだできないことで分ける。</p> <p>6 今自分にできることを1つの座標軸に表す。</p>	<p>T 前回のYチャートを見て、どのような力が必要かロイロノートに書き出しましょう。</p> <p>T 必要な力を身につけるために、具体的にどうすれば良いか、友達と相談しながら考えて、書き出してみよう。</p> <p>T 具体的に書いたものを、今できること、今はまだできないこと（中学生になったらできそう、など）に分けよう。</p> <p>T 今できることの中で、優先度が高いものの順にして、座標軸にまとめよう。</p>	<p>☆探究する学習を行うために思考ツールを活用し、自分に必要な力を明確にする。</p> <p>◇【思考・判断・表現】課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（ノート記録）</p>	<p>30分</p>
<p>ふりかえる</p>	<p>7 今日の活動を振り返り、次の活動に反映させる。</p>	<p>T 今日の気付きを、ロイロノートに具体的に書きましょう。</p> <p>T 次の時間では、2月末の授業参観で保護者に見せるために、どのような方法が良いのかみんなで出し合い、一人一人に合ったものを考えよう。</p>	<p>○次の授業の見通しをもたせ、楽しい気持ちを持たせた状態で授業を終わりにする。</p>	<p>5分</p>